



5月の自然予報

野鳥は子育てに大忙し！マナーを守って観察しましょう。

5月になるとキビタキやサンコウチョウなどの夏鳥・シジュウカラやウグイスなどの留鳥と様々な野鳥が子育てを始めます。

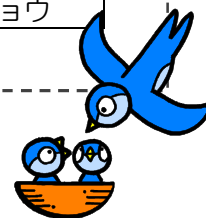
この時期親鳥はとても神経質になっていて、巣に近づきすぎると子育てをやめて、巣を放棄してしまうことがあります。野鳥を観察する時は巣に近づかず観察するように注意してください。

また、雛が巣立つ時にうまく飛べずに地面にいることがあります。必ず親鳥が近くで見守っているのので、これからの季節は雛を拾わないようにしてください。



昨年の夏鳥初認

初認日	種名
4/4	ツバメ
4/7	アカハラ
4/13	カイツブリ
4/18	イワツバメ
4/25	センダイムシクイ
4/26	キビタキ
4/28	ヤブサメ
4/29	オオルリ
4/29	クロジ
5/3	サンショウクイ
5/14	サンコウチョウ



4月の自然

小鳥の森のスミレ

4月8日におこなわれたモニタリング1000の植生調査では、スミレ、タチツボスミレ、ナガハシスミレ、マキノスミレ、コスミレが確認されました。ポツリポツリと咲くスミレですが、子孫を増やすためには実はアリの存在が重要です。

スミレは自分ではじけた後に、カタクリと同じようにエライソームと呼ばれる部分があり、アリの餌として運んでもらうことでさらに分布を広げます。

何気なく見つけた足元の花ですが、咲くまでには長いドラマがあるようです。



(マキノスミレ)

*現在小鳥の森では11種類のスミレが確認されています

カタクリ報告

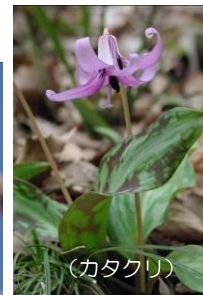
例年ですと4月上旬には見頃を迎えるカタクリですが、今年の見頃は4月12日頃と例年よりも1週間以上遅く見頃を迎えました。

これは3月中の気温があまりあがらずいわゆる春らしい陽気がすくなかったからではないかと思えます。

しかし、そのおかげか!?ソメイヨシノとカタクリが同時にみられるちょっとだけお得なお花見ができました。



(ソメイヨシノ)



(カタクリ)

オオルリ

分類：ヒタキ科 全長（翼開長）：27 cm

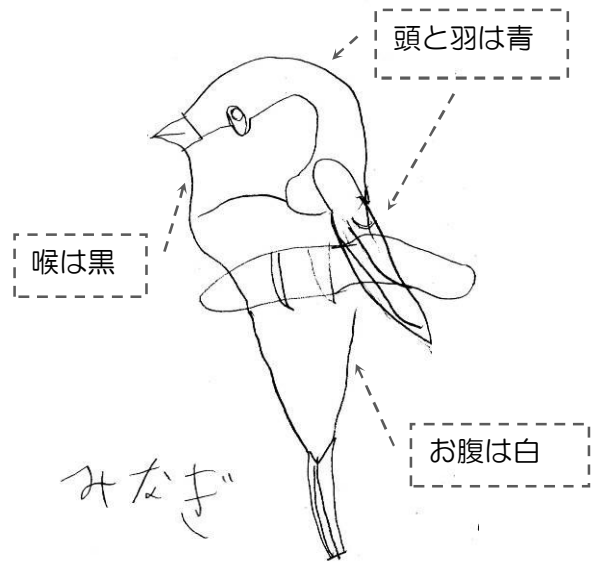
生態：夏鳥としてはるばる小鳥の森に渡って来る。
オスは青くきれいでな姿で、木の梢できれいな
声でさえずるので、よく観察してみよう。

鳴き声：「ひーほーひー じじっ」

小鳥の森での観察：

小鳥の森の中では『アワ畑』周辺で観察することができます。

*小鳥の森のネイチャーセンターでは
オオルリの展示物を作成しました。 →
ぜひ遊びに来てください。



*オオルリのイラストはさくまみなぎさんが描いてくれました

今月号は五十嵐レンジャーです。

小鳥の森を歩いてみると



小鳥の森は福島市内の阿武隈川の近くに位置する丘陵部の一部で、コナラやアカマツを中心とした里山の風景の残る、今も人の手によって定期的に管理されている森です。

このような森の中にはどんな生き物が棲んでいるのかとても気になるところだったので、さっそく森の中を歩いてみました。すると、アカマツの下でリスの食べた「まつぼっくり」の痕跡を見つけることができました。

ちょっと足をのばしてスギ林まで行ってみると今度はコロコロと丸いムササビのフンがあり、よく見ると近くにはムササビが食べたスギの虫こぶの痕も落ちていました。

リスやムササビは冬眠をしないで、エサの少ない冬を乗り切らなければならず、四季を通して食べ物がないと生きていけません。

リスはマツボックリやクルミなど、ムササビはスギの虫こぶやスギの実などを食べて冬を乗り越えます。

小鳥の森の中にはそれら食べ物となる植物が生えていてリスやムササビをはじめ多くの野生動物たちの生活を支えているのだと森を散策しながら感じました。



五十嵐悟レンジャーのご挨拶

4月からレンジャーとして小鳥の森に着任しました。今まで日本海側の植物を見るが多かったのですが、小鳥の森は太平洋側の植物がたくさん……。これからどんな動植物との出会えるのかとても楽しみです。

野鳥や植物などたくさん勉強したいと思っています。これからよろしくお願ひします。

*小鳥の森のイベント情報は小鳥の森ホームページ、福島市政だよりにてご覧になれます。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時
《入場無料》 休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.wbsj.org/sanctuary/fukusima/>

小鳥の森通信[しじゅうから] 2011年5月号No.312/企画・発行：福島市小鳥の森/（財）日本野鳥の会・サンクチュアリ室